

第11次改良増殖目標は、

- ・ 畜産農家の高齢化や後継者不足の進展等により、**省力的な飼養管理の下でも高い生産性を発揮できる家畜が求められている**
- ・ 国内の畜産物の消費が堅調な中、日米貿易協定による低関税枠の拡大や、対中輸出の再開に向けた動きなどを踏まえ、**国内外の消費者ニーズに応えつつ、生産基盤の強化を図る必要がある**などの情勢を踏まえ策定。

乳用牛

- 供用期間を延長するための改良を推進。
- 労働負担軽減を促進するため、**搾乳ロボット適合性の高い体型へ改良。**

肉用牛

- **生産性を向上**するため、増体性や歩留まりなどの**産肉性や繁殖性**を改良。
- 多様な**消費者ニーズ**に対応するため、**不飽和脂肪酸など食味**に関する形質を改良。

豚

- **生産コストを低減**するため、**繁殖性や増体性**を改良。
- **消費者ニーズ**に対応するため、**ロースの霜降り**など**食味**に関する形質を改良。

鶏

- 卵用鶏については、**消費者ニーズ**に対応するため、**卵質**などを改良。
- 肉用鶏については、**生産コストを低減**するため、**増体性**を改良。

馬

- 用途に応じ、**繁殖性や強健性、競争能力**などを改良。

めん山羊

- 需要に対応するため、**産肉性・泌乳性**などを改良。